

学術分科会における今後の検討課題について

1. 検討課題

学術研究分野・領域の特性に応じた振興方策の在り方について

2. 趣 旨

平成17年10月の学術分科会報告「研究の多様性を支える学術政策—大学等における学術研究推進戦略の構築と国による支援の在り方について—」では、①国は学術研究の動向の把握と分析を踏まえた上で、学術研究推進のための基本的な方針を立案すること、その上で、②学術研究全体が多様性を持ってバランスのとれた発展を遂げられるよう様々な支援方策を拡充すること、また、③若手研究者が自立して研究を行える環境を確立できるよう、国として個々の研究者と大学等を支援し、研究の多様性を促進すること、等の必要性が提言されている。

このことを踏まえ、(1)近年の学術研究の動向把握及び分析、(2)(1)での学術研究の動向分析を踏まえた支援方策の検討を行う。

3. 内 容

(1) 近年の学術研究の動向把握及び分析

ア) 次の各系について研究動向調査を行う。

- ① 人文社会系（人文学、社会科学）
- ② 理工系（数物系科学、化学、工学）
- ③ 生物系（生物学、農学、医歯薬学）
- ④ 総合領域・複合新領域

イ) 調査結果を分析し、報告として取りまとめる。その際、個々の研究分野・領域の特性を把握・整理する。

【研究手法による整理の観点】

- 主に実験を行うもの、主に理論探究を行うもの、主にシミュレーションを行うもの（理工系、生物系等）
- 主に実地調査を行うもの、主に文献調査を行うもの（人文社会系等）

【把握すべき特性（例）】

- 他の研究分野・領域との関係で不可欠な基盤的意義を有するもの
- 学術研究全体のバランスのとれた発展の観点から、特別の配慮を要するもの
- 新分野を開拓できる人材を生み出す上での基礎教育的見地から意義を有するもの
- 長期的な視点での計画的な研究基盤整備がなければ研究継続が困難なもの
- 国際的なリーダーシップを発揮できるもの
(研究遂行上必然的に、大きな資源の投入を必要とするものを含む)
- 追加的投資により格段の発展が期待されるもの
- 他の研究分野・領域を牽引し、先導的意義を有するもの
- 現代的な課題の解決に向けて、社会的要請の高いもの
- 他分野との連携・融合により新たな学問的展開が見込まれるもの など

(2) 学術研究の動向分析を踏まえた支援方策の検討

(1) の近年の学術研究の動向把握及び分析を踏まえ、研究分野・領域の特性に応じた振興方策の在り方について検討する。

【主な検討課題】

- 研究分野・領域の特性に応じた研究費の支援方策
- 研究分野・領域の特性に応じた研究環境・基盤の整備方策
- 研究分野・領域の特性に応じた研究者養成の在り方
- 研究分野・領域の特性に応じた研究評価の在り方 など

4. 検討スケジュール

(1) の学術研究の動向把握及び分析については、平成18年2月から1年間程度で、また(2)の学術研究の動向を踏まえた支援方策の検討については、(1)の報告後速やかに開始し、平成19年夏～秋頃を目途に取りまとめる。

5. 検討体制

(1) 及び(2)について、学術研究推進部会において、具体的な検討を行う。

なお、(1)の学術研究の動向把握及び分析に当たっては、独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター等の協力を得て実施する。また、必要に応じ、外部有識者からのヒアリングを行う。

第Ⅰ部 未来を拓く学術研究

第3章 学術振興の新たな展開

第1節 重点的な研究推進システムの活用に向けて

3 今後の方向と課題

(1) 研究分野の選定

重点的な研究推進システムを活用するに当たっては、研究動向や研究水準を的確に把握すると同時に、研究者を中心とする各方面の意向を適切に汲み上げ、効果的な施策を展開することが基本となり、重点的な研究推進を図るべき研究分野や研究課題の選定が重要となる。これは必ずしも容易ではないが、これまでの学術審議会等の議論を踏まえると、次のような観点からの検討が必要である。

- ① 研究発展の内在的要請に基づき、必須の研究設備等が大型化・高額化するとともに、多数の研究者等の組織的共同が研究推進上不可欠な条件となっているもの
- ② 研究分野全体の活力が高く、追加的投資により研究の格段の発展が期待されるもの
- ③ 社会的要請が強いものの、それに対応する学問分野が幅広い、又は研究拠点が散在していることから、研究者側の研究資源が集中しにくいもの
- ④ 研究の発展段階の観点から見て成長期にある分野で、適時に重点的投資を行うことにより、研究の効率的発展が期待されるもの
- ⑤ 当該分野の研究の発展が他の分野等の研究の発展に大きな波及効果をもたらすなど、学術研究における先導的又は基盤的意義を有するもの
- ⑥ 学術研究全体の整合性ある発展の観点から見て重要であるが、立ち遅れており、その進展に特別の配慮を必要とするもの
- ⑦ 学術的かつ社会的に重要であるにもかかわらず、国際的にみて対応が遅れているもの
- ⑧ 経済的・社会的な課題の解決に密接に関連しており、その解決を図るための国のプロジェクトの一環を形成し、その研究成果に対する社会的要請の高いもの

「平成9年度 我が国の文教施策－未来を拓く学術研究」(文部省)より抜粋